



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:https://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- 1. 新年のご挨拶
- 2. 木産協【第3回理事会】開催
- 3. 11月以降の各種事業展開
- 4. 1月以降の行事
- 各種情報提供 (お知らせ)



I 謹賀新年 (謹んで新年のご挨拶を申し上げます)

新年明けましておめでとうございます。旧年中は本組合の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年度は、本組合においても、一般流通材による地域の木造・木質化が各分野で展開されるような様々な働きかけを行ってまいりました。しかしながら、全国的に木材産業界は厳しい状況に置かれており、依然として先行きが見通せない状況が継続しています。今年も各分野と連携しながら鋭意努力して参りますので、皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年こそ、県内木材産業界の飛躍の年になりますよう、また皆様方にとって素晴らしい一年になりますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。よろしくお祈りいたします。 **木産協 理事長 松田賢**

【林業主要団体】要望活動：組合員の皆様の【経営安定】と【収益確保】に向け皆様のご意見を、しっかりと繋げて参ります。



織田 林野庁長官要望 (5年6月訪問)

木造施設に関する支援策の拡大について要望【中央：長官】



県 地主農林水産部長 (5年10月訪問)

森林整備の予算確保等について要望



新 青山林野庁長官に要望 (5年11月 森林協会：意見交換)

重要無等級材 (JAS材以外) も含めた木質用部材支援拡大を要望【中央：長官】



県 地主農林水産部長 (5年10月訪問)

木材産業の総合的支援対策について要望

2 木産協【第3回理事会】開催

令和5年12月14日（木）に、木産協第3回理事会を山形市（パレスグランデール）にて開催いたしました。第1号議案【令和5年度上期事業実績概要（11月まで）】について、今年度に計画した事業について、課題となっていることも含めた【上期の事業概況の説明】を行い、理事の皆様から評価していただきました。

第2号議案として【山形県木材産業協同組合 創立50周年記念式典】についてお諮りし、【創立50周年】の節目の年の対応について、令和6年度の総会に向けてしっかりと準備していくことをご了承をいただきました。

創立50周年記念式典（案）

日時：令和6年5月22日（水）16時から

場所：ホテルメトロポリタン山形 霞城の間

ご案内：理事長以下役員、組合員の皆様、賛助会員の皆様、来賓の皆様 等

※式典行事（案）：組合顕彰（県知事感謝状等関係機関と調整）

※式典行事（案）：記念講演会（木材産業を元気にする講演）

来年度4月に開催する理事会で詳細を決定し、御案内いたします。組合員の皆様のご協力をお願いします。

3 11月以降の各種事業展開（木産協・利用センター）

① 令和5年度「クリーンウッド法合法性確認研修会」及び発電用木質バイオマス証明に関する研修会、合法木材実務に関する研修会の開催（木産協事業）

令和5年11月22日（水）に標記セミナーを山形市（パレスグランデール）で開催しました。【第Ⅰ部】では、「クリーンウッド法合法性確認研修」として、（一社）全国木材組合連合会から講師（企画部：加藤正彦氏）をお招きし、改正クリーンウッド法を含めた制度研修会を行いました。【第Ⅱ部】として、発電利用に供する木質バイオマス証明のためのガイドラインの運用についての研修【第Ⅲ部】として、合法木材の実務研修を例年どおり行いました。

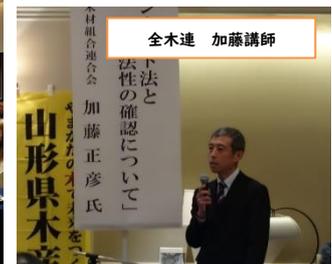
【別添：クリーンウッド法の改正に関する最新情報参照】



講演の様子



会場の様子（参加者約80名）



全木連 加藤講師

② 一般流通材を活用した木造建築セミナーの開催（木産協・利センター事業）

令和5年11月30日（木）に標記セミナーを山形市（㈱山形城南木材市場、山形木造住宅プレカットシステム）、米沢市（㈱アイタ工業）、郡山市（㈱オノズカ）を会場に開催しました。

【第Ⅰ部】では、ワーキングの座学として、地域で実施可能なプレカット加工や、木造建築物の規模に応じた標準的な施工等について情報交換を行いました。

【第Ⅱ部】の視察研修では、㈱アイタ工業にて「広葉樹展示場や製材工場等の見学」、㈱オノズカにお世話になり「木造施設（郡山へやメイクカレッジ）や特殊材プレカット加工施設の見学」を行いました。（主催は、県プレカット協会と県建築士会からなる一般流通材を活用した木造建築ワーキングGP）



情報交換



広葉樹材利用展示場



製材工場・乾燥施設



特殊材使用施設説明

③ **中大規模木造建築セミナーの開催**（木産協・利センター事業）※【やまがたの木認証制度説明含む】
令和5年12月6日（水）に、標記セミナーを山形市（パレスグランデール）にて開催しました。【第Ⅰ部】においては【県産材・国産材の利用拡大に向けた木造建築の推進】をテーマに、【山形大学／東北芸術工科大学：講師】の鍋野友哉（ともや）氏を講師に迎え、「**木造建築と木質資材**」と題して講演をいただきました。【第Ⅱ部】においては、事務局から【やまがたの木認証事業制度】についての説明を、県（森林ノミクス推進課）から関連事業の説明を行うなど、地域材・国産材の建築用部材の流通転換に向けた情報提供等を行いました。
 （「やまがたの木認証事業者」など、川中の流通事業関係者の皆様を対象に実施）



会場様子・開会挨拶



講演の様子（参加者約70名）



鍋野講師



やまがたの木®

④ **県内高品質材を活用した木造建築ワーキングの開催**
 （木産協・利センター・県 JAS 製材連絡協議会事業）

令和5年12月14日（木）に山形市（パレスグランデール）にて JAS 製材連絡協議会のメンバーを主としたワーキング GP が主体となって標記セミナーを開催しました。【第Ⅰ部】においては、県の県土整備部「建築住宅課」の（担当主幹・主査）を講師にお迎えし【令和4年度改正：建築物省エネ法・建築基準法】に対応した今後の木造建築の動向について説明を頂きました。

【第Ⅱ部】では、県の農林水産部「森林のミクス推進課」の（担当補佐）を講師にお迎えし、【クリーンウッド法の改正に対応した合法木材の流通】の制度改革の概要等について説明を頂きました。その後、協議会が主体となって作成している【JAS 製材品等紹介パンフ】の原案と普及啓発の方法等について意見交換等を行いました。

（主催は、県 JAS 製材連絡協議会からなる県内高品質材を活用した木造建築ワーキング GP）



建築住宅課 伊藤建築行政主査



森林ノミクス推進課 山崎補佐

4 1月以降の行事

日程	行事名	予定出席者
1.5	行政機関・関係団体 新年挨拶回り	理事長、専務
1.11-12	東京【モクコレ】 東京都東京ビックサイト西1・2ホール 【木産協：県広葉樹利用拡大協議会】主体	理事長・副理事長ほか
1.12	第2回東北地区需給情報連絡協議会 (Web) ノースジャパソ素流協主催	専務
1.22	【新春 木造建築・木材流通セミナー】 山形市内パレスグランデール	理事長、副理事長ほか
1.23	新春講演会（森林協会主催）山形市内パレスグランデール	理事長、専務ほか
1.26	【新春 資源循環利用セミナー】 山形市内予定 ＝森林資源循環利用促進協議会主催事業：ご案内済み＝	理事長、副理事長ほか
1.28	第4回やまがた木造設計マイスター養成講座（県産業創造支援センター）	理事長、専務
その他		
1.26	令和5年度山形県再造林加速化対策会議（村総：会議室）	専務
1.30	東北農林専門職大学 臨地実務実習に関する指導者説明会（村総：会議室）	専務

※1月22日の新春木造建築・木材流通セミナーの参加希望者は、事務局までご連絡願います。（PIO参照）

● **県内木材市場【初市】情報**

1月10日（水：13時から）(株)山形城南木材市場
 1月17日（水：13時から）やまがた中央木材市場

初市
 初市



● 【木産協からお知らせ】

国産建築用材等への転換を進めるウッド・チェンジセミナー

令和5年12月26日（火）に、寒河江市（ホテルサンチェリー）において、標記セミナーを開催しました。【第Ⅰ部】においては、【地域材活用（西山杉など）による「ウッド・チェンジ」事例紹介】を、【第Ⅱ部】においては、【株式会社モリアゲ】～日本の森を盛り上げる～ 代表 長野麻子氏 を講師にお迎えし、「**ウッド・チェンジで山形の森をモリアゲよう**」と題して基調講演をいただきました。

【第Ⅲ部】のウッド・チェンジをデザインする意見交換においては、長野氏の【森林ノミクス】は（盛り上がってますか）から始まり【本音トーク】が行われました。事務局としては、更に皆様からご意見等をいただき、具体的な国産材の流通拡大に向けた取組みを模索し関係機関に提案して参りたいと考えています。

第Ⅰ部事例報告（佐藤氏・谷知氏）



第Ⅱ部基調講演（長野氏）



【事例紹介内容】

- ・有限会社設計アトリエ 代表取締役 瀬野和広 氏
- ・株式会社高木 取締役営業部長 佐藤隆裕 氏

「ここは木の国」ウラ山の木でつくる作例紹介

「県内での民間／公共施設」における地域材利用の事例と可能性

（㈱シェルターと連携した最先端の中大規模モデル木造施設の建築事例）

- ・パワープレイス株式会社 ウッドデザイナー 谷知大輔 氏

「タニチシステム」による地域材利用事例紹介

（地域流通材を低価格で木材需要者に供給するシステムづくり）

参加者（川中・川下の木材の生産・加工・流通・販売に係る多様な企業の皆様）

㈱高木様等の事例報告の内容は、次号の（木産協だより）で特集記事として紹介予定

【瀬野講師（瀬野和広＋設計アトリエ：主宰、やまがた森林ノミクス大使）の事例紹介】

- ・流通材（西山杉）の活用事例として（村山市民間施設）【木踊館】（もくようかん）の事例紹介が行われました。大江町製材組合が製材した西山スギ100%で建築した民間木造施設の地域材への転換となる地域優良モデル事例となっています。（次の日12月27日（水）：全木連の幹部方々も当該施設を視察）



（踊り小屋束組み）

西山杉を編み組み纏う（まとう）
木造軸組み工法（300㎡以上）施設

- 当該セミナーについては、昨年度の山形市での開催に引き続き2回目の開催となるところです。
- 数年かけて各地域単位で、セミナーを巡回して開催して参りますのでよろしくお願いいたします。

● 【木産協からお知らせ】

第31回山形県林業まつり開催（盛大）【吉村知事にアピール】

令和5年10月21日から22日の2日間、第31回山形県林業まつりが、天童市の県総合運動公園南側特設駐車場内特設会場で開催されました。今年も、第71回山形県農林水産祭の一環として「秋の食彩まつり」と同時開催となりました。今年、吉村知事が「やまがた森林ノミクス宣言」を行ってから10年の節目の年であることから10周年記念セレモニーや特設ブースなどが設けられました。当組合からは、特設ブースに2団体が出展するなど、吉村知事に木製品等のアピールを行ったところです。（来場者数1万4千名、出展団体49団体（53ブース））



広葉樹製品の特設ブースを見学する吉村知事



広葉樹の魅力をアピール

広葉樹製品を手にとって説明を受ける吉村知事

【木産協：山形県広葉樹利用拡大協議会】木の国やまがたの広葉樹関連製品の魅力をアピール。出展ブースにおいては、広葉樹で制作したフローリングなどの木製品を展示しました。吉村知事からは【広葉樹制作した耳付板等の自然の香りのする木製品】を購入していただきました。



【WOOD COLLECTION 2023】入選作品
Wood Bloom Display
ライフスタイルデザイン部門

【木産協：相原木材(株)】MOKUKA（ウッド・フラワー展示台）の展示。吉村知事に新商品をPR。



置賜の木キューブブロック プレゼントなど

【利用センターの会員の出展ブース】置賜「地材地住ネットワーク」ブースで展示・販売状況

第31回山形県林業まつり

- 木結の家：JAS 認証材木 組み展示・住宅相談
- 【JAS 認証材を使った木質パーティション展示



● 【木産協からお知らせ】

第8回「山形県林業労働安全大会」開催（盛大）【最上に集結】

令和5年7月7日（金）に、新庄市（ニューグランドホテル新庄）において、木産協（森林資源循環利用促進協議会）の会員等（16社133名）が参加して標記【安全大会】を開催しました。県内森林資源の充実による利用可能量の増加に伴い、木質バイオマス発電所や大型集成材工場等が県内各地に進出する中で、伐採、搬出に関する林業労働災害が増加傾向にあります。このような状況を踏まえ、関係事業者が共同で安全対策に取り組む契機とするため、「ゆとりある基本プレーがファンインプレー」をスローガンに開催し、安全意識の高揚等を図りました。



安全祈願：戸沢神社神主

小関会長による安全祈願（資源協議会代表）



【ご来賓の皆様】

最上地域選出【県議会議員】 東北森林管理局 森林整備部長
山形労働局 新庄労働基準監督署長 山形森林管理署 最上支署長
山形県最上総合支庁 森林整備課長 ほかの皆様



松田理事長 挨拶（現場作業員の皆様の日頃の安全対策に感謝）



会場の様子：一堂に介して各種講演の聴講



安食資源活用課長によるご講演

東北森林管理局資源活用課長からの【情報提供】
●演題「国有林生産現場での労働安全対策」
●演題「東北地区の原木需給動向について」



安全スローガン唱和 木産協 青年部代表
（㈱小関興業：小関専務）

【トピック】

- 宮城県石巻市(株)石巻合板工業との意見交換
やまがた県産 LVL・合板の生産拡大に向け
合板・LVL 原木の受け入れ拡大等の協議
(5年5月に開催)



● 【木産協からお知らせ】

第57回 全国木材産業振興大会（群馬大会）【大会表彰式典】



- 日時：令和5年10月19日（木）13時～
- 会場：群馬県高崎市 「Gメッセ群馬」
- 主催：（一社）全国木材組合連合会
全国木材協同組合連合会

- 開催地担当
（一社）群馬県木材組合連合会

- 大会テーマ
木を使ってサステナブルな社会を

【大会表彰】

本組合から3名様が受賞なされました
（長年の功績に感謝申し上げます。）



林野庁長官 感謝状贈呈
松田 賢 様（登壇での代表者への贈呈）



全木連会長表彰授与
小関 一也 様（代表者登壇による贈呈）



全木協連会長表彰授与
沖田 洋元 様（代表者登壇による贈呈）



会場での記念講演（群馬県出身の「林家つる子氏」による落語講演会）

●【木産協からお知らせ】

各種展示会の開催、村山総合支庁（企画イベント）の紹介

●第5回「山形県木造住宅フェア2023」に出展

令和5年10月14日から15日にかけて、一般社団法人「山形県優良住宅協会」が主催する【標記フェア】が、山形市（国際交流プラザ「山形ビックウイング」）で開催されました。

「国産材および県産木材を使った、本物の木造住宅を県内に普及させる」を開催テーマとしており、健康・快適・エコな住宅を県民に広く情報発信し、家づくりを考えていく全ての世代の人たちに木造住宅の魅力や地域工務店の技術力をアピールする機会として開催しているもの（地域の工務店等36団体が出展）

当組合及び利用センターでは、**県産の高品質なJAS構造用材**で制作した「カーボンストックファニチャー※」を展示したところで。 ※木材工を最小限にした柱材を組み合わせ形状、二酸化炭素の固定量と産地等が可視化できる製品



●MOCTION 展示スペース「企画展示エリア」での「木の国やまがた魅力展」

令和5年12月14日から26日まで約2週間、東京都が設置している MOCTION 展示スペースにおいて、当組合の「広葉樹利用拡大協議会」が主体となり標記展示会を開催しました。

来場者：東京都内約400企業・団体 【広葉樹フローリングと木花（もくか）が人気商品】

※場所：東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー OZONE 5階 MOCTION 営業時間：10:30~18:30

MOCTION企画展 vol.61
Exhibition of the charm of Yamagata, the land of trees
木の国やまがたの魅力展
彩り豊かな広葉樹に囲まれた“やまがたの木のある暮らし”
12/14 ~ 12/26
from YAMAGATA
詳しくは WEBで!

本本来のツヤや香り、性能を活かした8種の山形県産広葉樹JAS製材品や広葉樹フローリングのほか、県産広葉樹で作られた皿、積み木などの日用品の小物などを展示します。

展示スペースの全景

木花（もくか）展示

8種類の広葉樹フローリング展示

●村山総合支庁（スペシャル企画）

林業・製材業を知る研修会

村山総合支庁（森林整備課）が主催して、林業者が本気で作った木育ボードゲーム「セーザイゲーム」（原木の購入⇒製材⇒販売まで疑似体験ができゲーム感覚で製材を体感できる）の研修会が開催されました。

※指導進行：【宮城県木材同友会】のインストラクターの皆様を講師に迎えて実施

林業・製材業を知る研修会

2023年11月29日 水 10:00▶15:00

先着30名
参加無料

集合場所 村山総合支庁本庁舎 2階 講堂
〒990-2492 山形市鉄砲町二丁目19-68

研修会内容

1 「セーザイゲーム」で製材業を疑似体験

10:00~12:30
指導進行：宮城県木材同友会

● 山形県木材青壮年協議会（櫛笹原木店：笹原社長が会長）も参加してゲームの仕方を学びました。

ゲームの説明

原木を購入し製材・販売
収益多いチームが優勝

木取りにより販売収益を想定

※「セーザイゲーム」は、熊野林星会（三重県熊野市を中心に活動）と三重大学が共同で開発した木育ツールです。セーザイゲームの詳細はこちらからご覧ください
<https://rinseikai.net/sezaigame/>

● 【利用センターからのお知らせ】

【やまがた木造設計マイスター養成講座】開催される

一流の充実
した講師陣

山形県では、一般社団法人山形県建築士会及び山形県木材産業協同組合との間で「**木造建築物の設計・施工に係る人材育成等に関する木材利用促進協定**」を締結し、山形県内の建築物における県産木材の利用を推進しています。その取り組みの一つとして、**県産材を活用した中大規模建築物を木造で設計ができる人材を養成するための講座**が始まっており【利センター】が運営の委託を受けています。初年度となる今年度は24名の【一級建築士】の皆様が受講されています。全6回のうち前期の3回は終了し、後期は演習中心の講座となります。

● **講座開催テーマ 設計演習を通じて身につける【中大規模木造建築の思考法】**

● **開催日：令和5年11/12(日) 11/26(日) 12/17(日) 令和6年1/28(日) 2/3(土) 3/3(日)**



11月2日(日)開校日【講座】

11月2日(日)開校日【開校式】
左から伊藤建築士会会長、松田木産協理事長、鍋野講師、稲山講師



11月2日(日)

【木質構造概論】
稲山正弘 (INAYAMA Masahiro)
・東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
・ホルツストラ一級建築士事務所 主宰
・木質構造研究会 会長

【木造建築と木質材料】
【木質構造計画演習】計画・意匠・構法
鍋野友哉 (NABENO Tomoya)
・法政大学 兼任講師
・山形大学/東北芸術工科大学/お茶の水女子大学 非常勤講師
・鍋野友哉アトリエ/TMYA 主宰



11月26日(日)【講座】

【建築法規】～デザインから読み解く建築法規～
河野泰治 (KAWANO Taiji)
・東京大学 非常勤講師
・法政大学 兼任講師
・河野泰治アトリエ 主宰



11月26日(日)

【木造建築の防耐火】
安井 昇 (YASUI Noboru)
・校設計集団一級建築士事務所 代表
・NPO法人team Timberize 理事長
・早稲田大学理工学研究所 招聘研究員



12月17日(日)【講座】

【木造建築の省エネ】
竹内昌義 (TAKEUCHI Masayoshi)
・東北芸術工科大学デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 教授
・株式会社エネギーマチづくり社 代表取締役
・(一社)パッシブハウス・ジャパン 理事
・株式会社みかんぐみ 共同代表



12月17日(日)

山の木と建築部材の違い

【木造と木の文化】
網野禎昭 (AMINO Yoshiaki)
・法政大学デザイン工学部建築学科 教授
・一級建築士事務所ストラクチャ 共宰

修了者には山形県知事による**修了証**を発行⇒「やまがた木造設計マイスター」として**人材登**

●【木産協からのお知らせ】

新春 木造建築・木材流通セミナーを開催します。(参加案内)

新春 木造建築・木材流通セミナーのご案内

冬至の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本組合（センター）では、これからの木造建築への国産木質部材の供給や、効率的な木材流通の仕組み等を検討するため各種補助事業等を活用しながら、各種ソフト事業を展開しているところです。

その取り組みの一つとして、下記により【木造建築・木材流通セミナー】を開催しますのでご多用中のところ誠に恐縮ですが、是非ご参加していただけるようご案内申し上げます。

記

- 1 日時 令和5年1月22日（月） 13時05分～16時
- 2 場所 山形市 パレスグランデール エアルの間（60名規模）
- 3 主催 山形県木材産業協同組合、やまがた県産木材利用センター
山形県 JAS 製材連絡協議会、山形県プレカット協会
- 4 講演テーマ
 - これからの木造建築・木造住宅を知る（東京都立大学名誉教授 大橋好光 氏）
【低層小中規模の木造設計モデルなど
ウッドチェンジ協議会での具体的検討事例を踏まえたご提案】
【建築基準法の改正等を踏まえたこれからの木造建築の推進】
 - 建築用部材等の地域流通材への転換を考える（パワープレイス㈱ 谷知大輔氏）
【タニチシステムによる地域材の利用拡大】
- 5 参集者
木産協及び利用センター関連の【製材・木材流通関係者・建築設計・工務店】等の皆様

●参加希望者は（木産協）までお問い合わせ願います。

●トピック【流通材活用支援】

品質・性能の確かな木材に注目

JAS 認証材を利用する工務店等への支援事例



(山形市内活用事例)

●建築用木材の転換促進支援事業を活用（林野庁支援事業）

構造部分に JAS 構造材を利用することを通じて、設計、調達、施工時等における JAS 構造材の利用を促進する支援事業を展開しています。
(令和5年度の実績 14 件 (11 工務店) となっています)

●【山形県からののお知らせ】やまがた森林ノミクス 10年のあゆみ

平成 25 年 11 月に知事が「**やまがた森林ノミクス宣言**」を行ってから、10 年間の森林ノミクスの取組みと成果をまとめた動画を県公式 YouTube（やまがた channel）で公開しましたのでお知らせします。

通常版（約 10 分）：https://www.youtube.com/watch?v=lyNrf0Iex_I

要約版（約 3 分）：<https://www.youtube.com/watch?v=pKwvmlYTnTg>

●【全木連からののお知らせ】“木材の実用知識” 講習会のご案内 ～木材産業における IT の活用～デジタル技術が拓く木材利用の未来～

木材産業における IT の活用をテーマとし、製材機械、製材品検査装置、合板検査装置等の木材加工機械開発、木材加工工場における生産革新に関して、最新の情報提供を行い

【デジタル技術が拓く木材利用の未来】について考える機会とする講習会を開催します。

- 日 時：令和 6 年 2 月 20 日（火） 13：00～16：40
- 場 所：東京大学 セイホクギャラリー（東京都文京区）web 併用
- 主 催：公益社団法人日本木材加工技術協会
- 受講料：会員 11,000 円、非会員 22,000 円
- 定 員：50 名 **締切**：令和 6 年 2 月 16 日（金）厳守
- 申込方法：協会ホームページ（<https://www.jwta.or.jp/>）から
- プログラム（予定）：製材機械の自動化技術の開発、国産材集成材ラミナー欠点検知用スキャナーの開発及びデータ活用 など・・・

●【全木連からののお知らせ】

【「国産木材のある暮らし」の投稿応募キャンペーン受賞作品のご紹介】

日本最大級のインテリア実例アプリ・サイト **“RoomClip” とラブキノヘイ** のコラボ企画として「**国産木材のある暮らし**」をテーマにした投稿募集キャンペーンが実施されました。

RoomClip は、住生活の領域に特化した日本最大級のソーシャルプラットフォームです。様々なユーザーが投稿した「**住生活の実例写真**」の実例写真は、アプリやウェブサイトを中心に、SNS や出版物を通じて多くの人に届けられています。今回は「国産木材」を使用した空間やアイテムなどを募集し、応募作品の掲載などを通じ木材使用の啓発に向けた取り組みとなっております。

↓ここから

<https://love.kinohei.jp/>



●【全木連からののお知らせ】【年間の外国人技能実習生受入れが可能】

外国人技能実習制度は、発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としており、平成 29 年 11 月に施行された【外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律】に基づいて、新しい技能実習制度が実施されています。

- **2023 年 10 月 31 日**に「**木材加工職種・機械製材作業**」が第 2 号技能実習への移行対象職種に追加認定され、3 年間の外国人技能実習生受入れが可能となりました。

詳しくは【厚生労働省 HP】を参照

- ・技能実習計画審査基準・技能実習計画モデル例・技能評価試験基準（木材加工は「7.その他(7-21-1)」）に追加
- ・技能実習制度移行対象職種・作業一覧（木材加工は「7.その他」）に追加

●【全木連からのお知らせ】

「クリーンウッド法の一部を改正する法律」の概要

【11月22日 日本県開催のクリーンウッド法の研修会配布資料より】

「クリーンウッド法の一部を改正する法律」の概要① (令和5年5月8日公布) 詳細はクリーンウッド・ナビに掲載

1. 背景

- 現行制度は、①事業者が合法伐採木材等の利用の努力義務を課すとともに、②合法性の確認等を確実に
行う木材関連事業者を第三者機関が登録する等により、合法伐採木材等の流通及び利用を促進。
- 木材関連事業者により合法性が確認された木材量は、我が国の木材総需要量の約4割。
- 違法伐採の根絶に向けて更なる取組の強化が必要。

法律改正に至るまでの議論(合法伐採木材の流通及び利用に係る検討会)はこちら
→ <https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/ryuturiyou/210915.html> (右のQRコード)
合法伐採木材の流通及び利用に係る検討会の「中間とりまとめ」はこちら
→ <https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/ryuturiyou/attach/pdf/210915-48.pdf>



2. 改正点(概要)

(1) 川上・水際の木材関連事業者による合法性の確認等の義務付け

川上・水際の木材関連事業者に対し、素材生産販売事業者又は外国の木材輸出事業者から木材等を譲り受ける際に、①原材料情報の収集、合法性の確認、②記録の作成・保存、③情報の伝達を義務付け

(2) 素材生産販売事業者による情報提供の義務付け

上記(1)で義務付けされる合法性の確認が円滑に行われるよう、素材生産販売事業者に対し、木材関連事業者からの求めに応じ、伐採届等の情報提供を行うことを義務付け

「クリーンウッド法の一部を改正する法律」の概要②

(3) 小売事業者の木材関連事業者への追加

合法性の確認等の情報が消費者まで伝わるよう、小売事業者を木材関連事業者に追加

(4) その他の措置

○前記の(1)及び(2)に関し、主務大臣による指導・助言、勧告、公表、命令、命令違反の場合の罰則等を措置

○木材関連事業者が、違法伐採に係る木材等を利用しないようにするための措置等を明確化

○一定規模以上の川上・水際の木材関連事業者に対する定期報告の義務付け

その他のポイント

○今後、省令等で具体的・詳細な内容が示される予定。

○合法性確認に当たっては、林野庁ガイドラインの取組を活用できることとし、CW法との仕組みの間で異なる内容について整理。(「5年後見直しについて(とりまとめ)」(令和4年12月3省公表)に明記)

○第一種木材関連事業者も引き続き登録は可能となる(登録の有無にかかわらず第一種は確認が義務)

○公布の日から2年以内に施行(政令で定める)

○施行後3年で施行の状況について検討し、必要な措置を講ずる。

CWナビに掲載の現行法のQ&Aはこちら

→ <https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/pdf/2-4qa.pdf> (左のQRコード)

また、改正法に関するQ&Aは、CWナビの改正法説明会のアーカイブにあります

→ <https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/summary/attach/pdf/summary-7.pdf>
(右のQRコード)

CWナビのQ&A等は更新される予定ですので、随時ご確認ください。



YouTubeチャンネル「木材で街づくり」でクリーンウッド法の紹介動画が見られます。
<https://www.youtube.com/channel/UCESOPHDk9QM-l7fZqSORldg>

●【林野庁からのお知らせ】【重要】林野庁のHP 抜粋

建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度等一覧

(令和6年度事業・制度 概算要求版)

※ 本資料は、令和6年度政府予算概算要求に盛り込まれた補助事業等の内容を踏まえ、各省にも確認の上、林野庁が作成したものです。

※ 本資料の内容は、各補助事業等の主な情報について掲載したものであり、各事業・制度の詳細については、「問い合わせ先」欄に記載の省庁等へお問い合わせ下さい。

※ どの事業が活用しうるのかや補助事業間の違いなど、ご不明な点がございましたら、下記の「建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ」まで、ご相談ください。

[建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ]

木材利用促進本部事務局（林野庁林政部木材利用課建築物木材利用促進グループ）03-6744-2626

https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/riyou/mokuzou_concierge.html

林野庁 HP「建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度等一覧」

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuzozigyoku.html>

● **トピック：ウッド・チェンジ協議会からのお知らせ**

・林野庁で設置しているウッド・チェンジ協議会では、【建築物での木材利用のすすめ（普及資料）】をHP上で情報提供しており、建築主などの事業者が、店舗や事務所、ビルなどの建築物での木材利用を検討する際に参考となるものです。

（普及資料事例）＝低層小規模建築物木造化のすすめ（これからの事務所建築は木造化でつくる時代です）

一括版 [\(PDF：10,903KB\)](#)

問合せ：公益財団法人 日本住宅・木材技術センターまで

（関連資料も閲覧可能です）



関連資料（公財）日本住宅・木材技術センターが作成した関連資料です。こちらも合わせて参考にしてください。



低層小規模建築物
木造化のすすめ



木造で建てられます
2階建て小規模店舗



身近なまちの建物の
木造化のすすめ



内装木質化した建物事例
とその効果



木でつくる中規模ビル
のモデル設計



建てるのなら、
木造で



● 【林野庁からのお知らせ】

【令和5年度 木材利用優良施設等コンクールの受賞施設が決定】

木材利用優良施設等 **令和5年度**
コンクールの受賞施設決定！

木材利用優良施設等コンクール（主催：木材利用推進中央協議会）において、80件を超える応募の中から受賞施設が決定しました。

10月30日（月）に木材会館（東京都江東区新木場）において、各施設の建築主、設計者、施工者等が集い、表彰式が盛大に行われました。



内閣総理
大臣賞

岡山大学共育共創 commons (OUC: オークス)
(岡山県岡山市)

「地域の産業活性化」に向けて、岡山県が国内最大の生産能力を有するCLTを壁、梁、床及び屋根で活用し、CLT建築の普及への貢献が期待されます。



農林水産
大臣賞

小鹿野町役場
(埼玉県小鹿野町)

木材調達と協働体制の構築、住宅用流通材を組み合わせた「組立柱」の採用、町有林大径材の内外装や組立柱への積極的使用等により、5割を超える県産材率を達成しました。また、純木造庁舎では全国初のNearlyZebを取得しました。



文部科学
大臣賞

中津川市立福岡小学校
(岐阜県中津川市)

地域材を積極的に活用しつつ、多目的広場は丸太材をシンボリックに配置しました。防耐火構造の工夫により、地域の風景に相応しいデザイン性と防耐火性能を再立しました。



国土交通
大臣賞

徳島県新浜町団地
県営住宅 2号棟
(徳島県徳島市)

構造に木材を視して用いた全国初となる木造4階建て準耐火構造の県営住宅。県産材のスギ材をはじめ100%国産材を使用しています。



環境
大臣賞

水戸市民会館
(水戸市1丁目北地区再開発ビル)
(茨城県水戸市)

工事難易度の高い部分の木工事にBIMモデルや3Dスキャンを活用しました。また、ZEB Oriented、CASBEE Aランクの環境性能認証を取得しています。



林野庁
長官賞

銀座高木ビル
(東京都中央区)

9~12階が多摩産のスギを使用した木造で、木の箱が乗ったようなデザイン。外壁は、ガラスコーティング塗料による不燃処理材を用いています。



林野庁
長官賞

神戸市中央区役所・中央区文化センター
(兵庫県神戸市)

道路に面した歩道の軒天仕上げ等に兵庫県産材のスギを活用した地上12階の建築物で、木が存分に感じられるデザインとなっています。



林野庁
長官賞

立命館アジア太平洋大学
Green Commons
(大分県別府市)

国内の木三学（1時間準耐火の燃え代設計による木造三層建て校舎）で、初の3層吹抜を表現しています。

リサイクル適性 (A)
この建築等は、当該用材の断片へリサイクルできます。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

「林野」は林野庁 HP でもご覧になれます。詳しくは

情報誌 林野

検索

- **【林野庁からのお知らせ】【スマート林業Ⅱ オンライン講座】**
(今回は、木材流通・木材の利用など川中サイドの取組みが中心となっています)

📺 講座概要

受講料
無料 **0**円



2023年12月12日 12時 開講

受講期間：2023年12月12日～2024年3月15日

スマート林業 オンライン講座Ⅱ

第1章 はじめに

第2章 林業のプロセス

木材の流通(1)

- ・伐倒から集積場所(土場)のはい積まで
- ・木材の選別
- ・木材の数量検収(検知)
- ・運搬・輸送

木材の流通(2)

- ・市場での取引
- ・生産・在庫・流通の見える化

木材の利用

- ・木材商品
- ・エネルギー(木質バイオマス)
- ・輸出

造林

- ・造林のプロセス
- ・これからの技術

第3章 まとめ

これからの森林経営

※「森林科学」、「森林経営」は文部科学省著作の高等学校用教科書です。

- ▶ 「森林科学(新)」木材の収穫(造材と集材、木材の運搬)
- ▶ 「森林科学(旧)」木材の生産(造材と集材、木材の運搬) に対応

- ▶ 「森林経営(新)」日本の森林と林業(木材の流通)
- ▶ 「森林経営(旧)」木材の流通(木材の流通と市場) に対応

- ▶ 「森林経営(新)」日本の森林と林業(日本の森林資源と林業)
- ▶ 「森林経営(旧)」木材の流通(木材の流通と市場、木材貿易) に対応

- ▶ 「森林科学(新)」森林の施業技術や管理技術(生産林の施業技術)
- ▶ 森林の育成と活用の実践(森林の育成と活用の実践)
- ▶ 「森林科学(旧)」森林の育成 に対応

i 本講座の受講登録の前に、**gacco会員の登録(無料)**が必要です

gacco会員未登録の方
会員登録はこちら



gacco会員登録済みの方
ログインはこちら



本講座の受講登録はこちら

※ログインした状態でお進みください



登録後は、開講中
好きなパートを
いつでも何度でも
視聴可能です!

gacco
powered by FCOMGacco

gaccoとは、すぐに役立つスキルからずっと役立つ教養まで、人生100年時代の学びが体験できる動画学習サービスです。

<https://gacco.org/>

gacco 検索

● 【林野庁からのお知らせ】

【「森ハブ・プラットフォーム」会員募集】

日本の林業にイノベーションを!

入会費 無料

森ハブ・プラットフォーム

林野庁では林業の安全性と生産性の飛躍的な向上を目指して、林業イノベーションを推進しています。そのために必要な組織・人材・情報が集まる場として「森ハブ・プラットフォーム」を開設します。林業イノベーションにご関心をお持ちの方は、ぜひご参画ください!

森ハブ・プラットフォームでできること

林業を行う地域・事業者のみなさま	製品・サービスや技術を有する事業者・研究機関のみなさま
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新たに実用化された製品・サービスの情報を収集したい ✓ 課題の解決に向けて、様々な事業者とつながりたい ✓ 同様の課題・問題意識を持つ全国の自治体・事業者とつながりたい 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 林業現場の課題や製品開発ニーズに関する情報を収集したい ✓ 林業現場のニーズを踏まえて、自社の製品やサービスをPRしたい ✓ 異分野技術や専門知識をもつビジネスパートナーを探したい

この他にも、みなさまからのご要望を踏まえ、今後の取組を検討します!

林野庁

● 林野庁では

「森ハブ・プラットフォーム」の設立趣旨に賛同し、本プラットフォームの取組に積極的に参画しようとする企業・団体等を募集しています。以下のフォームに必要事項を入力して、申込を行ってください。申込後、森ハブ事務局から入会通知が届きます。(申し込みの期限はなく、随時受け付けています。)

会員登録は林野庁 HP 林業イノベーションハブセンター（森ハブ）モリハブ HP から

- 【林野庁からののお知らせ】（各企業との連携時の情報として活用）

【山村と企業をつなぐフォーラム】が開催されます。



長野県町地域

山村と企業をつなぐ フォーラム

2024

2/7 (水) 13:00 | 開場 12:30 | 17:00

参加費無料 定員：会場100人、オンライン200人

場所 木材会館7階大ホール (東京都江東区新木場1-18-8) 主催 林野庁

申込 申込フォームから事前に申し込みください。
<https://questant.jp/q/sansonforum>
(申込期限：1月31日(水))



プログラム

- 第1部 基調講演
森林でのプログラムを活用する企業からの発表
森林サービス産業推進地域からのプレゼン など
- 第2部 参加企業と森林サービス産業推進地域との交流

詳細は裏面をご覧ください

森の中で
社員等向けの
プログラムを
はじめませんか

企業研修、ミーティング、福利厚生などに、森林でのプログラム等を活用いただくことで、社員のメンタルヘルスや健康づくり、チームビルディング、新たな視点の獲得、SDGへの貢献など様々な効果が期待できます。

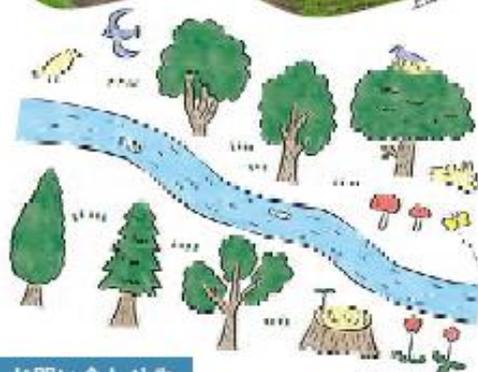
森林でのプログラム等を提供する地域（森林サービス産業推進地域）と、サービス利用に関心のある企業をつなぐフォーラムを開催します

こんな企業におすすめ

- ✓ 健康経営やWell-beingに取り組みたい
- ✓ 対面で会う機会が少ない社員のチームワークやコミュニケーションを高めたい
- ✓ 五感を研ぎ澄まし、プロジェクトに新たな視点を盛り込みたい
- ✓ 都心を離れ、自然の中で社員研修を行いたい



上山市地域



お問い合わせ先

- (株)JTB総合研究所 白井
k_usui725@tourism.jp
- 林野庁 山村振興・緑化推進室 櫻井、井村
forest_style@maff.go.jp

●住宅着工状況（11月期）

令和5年11月期の県内新設住宅着工戸数は333戸となり、対前月比92.8%、対前年同月比78.9%、対前年累計比は104.7%となった。県内では貸家、持家ともに減少傾向。地区別の前年比は最上では増加したが他地域では減少。累計比は増となった。木造率は97.6%。

1 県内新設住宅着工戸数(令和5年11月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年(元年)	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
2年	5,005	2,939	1,338	7	721	4,935	70	4,480	89.5%	3,259	87	1,134
3年	5,187	2,952	1,444	20	771	5,026	161	4,313	83.2%	3,273	70	970
4年	4,526	2,416	1,365	54	691	4,455	71	3,727	82.3%	2,774	62	891
11月	422	205	130	42	45	418	4	294	69.7%	215	4	75
04.1~11月	4,123	2,233	1,263	53	574	4,056	67	3,432	83.2%	2,537	56	839
12月	403	183	102	1	117	399	4	295	73.2%	237	6	52
05.1月	304	137	101	0	66	302	2	289	95.1%	181	7	101
2月	322	159	92	1	70	302	20	301	93.5%	172	7	122
3月	368	195	68	0	105	362	6	341	92.7%	220	6	115
4月	520	277	69	2	172	508	12	357	68.7%	284	18	55
5月	472	209	223	16	24	462	10	282	59.7%	223	3	56
6月	512	245	78	1	188	507	5	342	66.8%	269	6	67
7月	411	237	141	1	32	404	7	390	94.9%	256	7	127
8月	356	236	84	2	34	347	9	310	87.1%	228	5	77
9月	361	187	137	2	35	356	5	318	88.1%	199	3	116
10月	359	197	132	0	30	350	9	318	88.6%	239	3	76
11月	333	174	114	0	45	326	7	325	97.6%	228	8	89
対前月比	92.8%	88.3%	86.4%	-	150.0%	93.1%	77.8%	102.2%	-	95.4%	266.7%	117.1%
対前年同月比	78.9%	84.9%	87.7%	0.0%	100.0%	78.0%	175.0%	110.5%	-	106.0%	200.0%	118.7%
04.1~当月計	4,123	2,233	1,263	53	574	4,056	67	3,432	83.2%	2,537	56	839
05.1~当月計	4,318	2,253	1,239	25	801	4,226	92	3,573	82.7%	2,499	73	1,001
対累計前年比	104.7%	100.9%	98.1%	47.2%	139.5%	104.2%	137.3%	104.1%	-	98.5%	130.4%	119.3%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和5年11月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	333	4,318	78.9%	104.7%	3,573
山形市	90	1,283	59.2%	93.5%	877
上山市	16	95	400.0%	91.3%	92
天童市	47	310	156.7%	130.8%	287
山辺町	1	54	100.0%	112.5%	51
中山町	8	34	-	109.7%	29
東南村山	162	1,776	86.6%	99.1%	1,336
寒河江市	7	201	58.3%	170.3%	197
河北町	4	73	-	192.1%	71
西川町	0	23	-	164.3%	13
朝日町	0	6	0.0%	75.0%	6
大江町	0	13	0.0%	130.0%	13
西村山	11	316	64.7%	168.1%	300
村山市	6	60	120.0%	98.4%	59
東根市	11	372	50.0%	102.8%	346
尾花沢市	1	22	14.3%	104.8%	22
大石田町	0	3	-	100.0%	3
北村山	18	457	52.9%	102.2%	430
村山地域	191	2,549	80.3%	105.0%	2,066
新庄市	13	168	216.7%	148.7%	128
金山町	0	1	0.0%	50.0%	1
最上町	0	17	-	340.0%	16
舟形町	0	19	0.0%	633.3%	19
真室川町	0	4	-	80.0%	4

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	2	-	100.0%	2
鮭川村	0	4	-	80.0%	4
戸沢村	0	2	-	33.3%	2
最上地域	13	217	162.5%	153.9%	176
米沢市	13	294	108.3%	102.8%	273
南陽市	4	89	66.7%	97.8%	84
高島町	20	74	-	189.7%	72
川西町	0	25	0.0%	73.5%	24
東南置賜	37	482	194.7%	107.1%	453
長井市	11	89	183.3%	94.7%	88
小国町	0	18	0.0%	25.0%	17
白鷹町	2	34	40.0%	85.0%	34
飯豊町	1	12	50.0%	54.5%	10
西置賜	14	153	25.5%	67.1%	149
置賜地域	51	635	68.9%	93.7%	602
鶴岡市	44	513	81.5%	129.5%	353
三川町	1	14	50.0%	77.8%	14
庄内町	6	53	300.0%	135.9%	50
田川	51	580	87.9%	128.0%	417
酒田市	26	322	61.9%	80.7%	298
遊佐町	1	15	50.0%	60.0%	14
飽海	27	337	61.4%	79.5%	312
庄内地域	78	917	76.5%	104.6%	729

注:累計は令和5年1月~